

日本工学院専門学校	開講年度	2019年度	科目名	プロジェクトワーク8	
科目基礎情報					
開設学科	マンガ・アニメーション科四年制	コース名	キャラクターデザインコース	開設期	後期
対象年次	4年次	科目区分	必修	時間数	90時間
単位数	3単位			授業形態	実習
教科書/教材	課題が開始の際には仕様書を配布する。また内容に応じて素材や参考データを配布する。				
担当教員情報					
担当教員	湯川 高嗣		実務経験の有無・職種	有・イラストレーター	
学習目的					
4年間の中で学んだ集大成として卒業制作を行う。今までの課題とは異なり「人を楽しませ幸せにするコンテンツ」というテーマで、実習で培った技術、表現力、思考力だけでなく、座学や学外で経験した全てを発揮し、コンテンツ制作を行う。完成した作品は合同卒業制作展「若きつくりびと」で発表されるため、優れたコンテンツを制作する事は、就職活動だけではなく起業やフリーランスを目指す上でも最高のプレゼンテーションツールになりえるのでそういった目標意識をもって制作を行う。					
到達目標					
卒業制作として「人を楽しませ幸せにするコンテンツ」というテーマで、グループまたは個人でコンテンツ制作を行い作品として合同卒業制作展「若きつくりびと」において発表する。企画から仕様制作、そして実際の制作から発表といった実践的な一貫したコンテンツ制作を行うことで実践力だけでなく問題解決をするための調整能力や目標を達成する為の意志力、さらには発表する事を前提にした制作を行うため伝達力を身に付ける。					
教育方法等					
授業概要	学校で学んだ内容の集大成とも言える卒業制作を実施する。制作形態は個人製作・グループ制作どちらでも可能。またコンテンツ制作を企画から発表まで一貫して行うために長いスパンでの制作となる。制作では常に講師、教員の指導が入るのでそれらの問いかけに対し常に対応できる体制を作っておくようにする。 またこの授業はプロジェクトワーク7と連動する。				
注意点	個人製作・グループ制作どちらの形態でも授業内でディスカッションや意見交換などを頻繁に行うと同時に、毎回の授業内で進捗状況の確認をするため常に出席すること。授業内の時間だけでは100%の作品制作を行うことが難しいので自宅でも制作するようにすること。コンテンツ制作として企画から発表まで全てを行うので幅広い視野と柔軟な思考を持つこと。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	70%	課題内容を総合的に評価する		
	成果発表 (口頭・実技)	20%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する		
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	卒業制作（1）		卒業制作に向け展示企画を考える		
2回	卒業制作（2）		卒業制作企画の立案作業		
3回	卒業制作（3）		卒業制作企画の立案作業		
4回	卒業制作（4）		卒業制作企画の立案作業		
5回	卒業制作（5）		卒業制作企画の立案作業		
6回	卒業制作（6）中間発表		卒業制作企画のプレゼンテーションを行い講師・他学生からフィードバックを得る		
7回	卒業制作（7）		卒業制作 作業		
8回	卒業制作（8）		卒業制作 作業		
9回	卒業制作（9）		卒業制作 作業		
10回	卒業制作（10）		卒業制作 作業		
11回	卒業制作（11）		卒業制作 作業		
12回	卒業制作（12）		卒業制作 作業		
13回	卒業制作（13）		卒業制作 作業		
14回	卒業制作（14）		卒業制作 作業		
15回	卒業制作（15）		制作した作品のプレゼンテーションを行う		